

あさひ西方見聞録

Vol. 17

題字：旭中学校 國澤 百加



ごあいさつ

旭西部まちづくり推進会議
会長 甲藤 浩之

この度、令和7年度より会長を務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。まずは、今まで長年にわたり本会をけん引して頂いた天野前会長、大変お疲れ様でした。この地域での様々な活動や行事の基礎を会員の皆さんと共に築かれ、市内でも有数の活発な団体にされたと実感しています。

これからも今まで関わって来られた皆さんの熱い想いを絶やすことなく次の世代に引き継いで行き、より安全で安心して住めるまちづくりを町内会・自治会・防災会をはじめとした各種団体・市と共に取り組んで参ります。

今号の主な内容

- | | |
|--------|--|
| 1 P | ごあいさつ |
| 2 P | 高ノ森の桜の手入れ、第41回あさひ納涼祭 |
| 3 P | 第17回学ぼう災、横内小避難所開設訓練 |
| 4～6 P | 学校だより（横内小学校、旭小学校、旭中学校、高知商業高等学校） |
| 7～8 P | 保育園・幼稚園から（塚ノ原保育園、もみのき幼稚園・めだか園） |
| 9～11 P | 活動団体紹介（あさひのこどもを守る会、旭小青少協、横内小青少協、こども食堂とりごえ） |
| 12 P | 塚ノ原駐在所 |

高ノ森の桜の手入れ

平成16年にスタートした桜の手入れは、令和6年度も計画に基づいて年2回（6月、11月）実施しました。

桜の手入れは、会員である地域住民・旭中学校・横内小学校PTA、青少協及び地域内の福祉施設等の皆様方と実施していますが、その大半の参加者は旭中学校生徒会の皆さん方です。そうした中、10月25日（金）に高知市町内会連合会から「ハッピータウン事業」の一環として、桜の手入れが地域貢献活動として評価され、表彰されました。

また、高の森の山道は定期的に見回り、ごみ等が見つければ回収するなどにも取り組んでいます。

桜も咲き、自然の素晴らしさを感じさせてくれる場所ですので、散歩されてはいかがでしょうか。

＜旭西部まちづくり推進会議 事務局 天野 守章＞

旭中学校2年 谷脇 朱莉

今回ボランティアに参加してみて、地域の人との関りや自然を大切にする思いを知ることができました。最初の開会式の地域の方の話では、旭中学校の生徒会が代々、世話をしてきた桜の木だと聞いて、こうやって毎年ボランティアを集めてまわりの雑草などを刈っているから、きれいな桜が毎年、高の森で見られるんだなと思いました。また、このようなボランティアがあるおかげで地域の方と交流することができるし、自然を大切にしたいと思えるきっかけにもなるんじゃないかなと思いました。

毎年きれいな桜がみれるように、またボランティアに参加して高の森の自然を守っていきたいです。



桜の手入れをはじめ、地域貢献活動に積極的に取り組んでいる旭中学校生徒会の皆さんが、高知市町内会連合会から表彰されました！

第41回あさひ納涼祭

「第41回あさひ納涼祭」を、8月17日（土）に塚ノ原二号公園で開催しました。

お陰様で天候にも恵まれ、約900人の地域住民に参加していただき、大変盛り上がったお祭りになり、開催の目的であります地域住民の交流をはかる機会を提供できましたこと嬉しく思います。

今回の計画・運営にあたっては、経費削減を図るとともに、各町内会から選出された運営委員さんの負担をできるだけ軽減することに重点を置きました。

具体的には、出し物・売店については、従来から参加していただいている団体・町内会に依頼する、運営委員の負担軽減として、開催時間の短縮（従来午後4時から8時までを午後4時30分から8時までとし30分短縮）、協賛金ご負担団体への配慮と依頼・集金に関する役割の軽減（従来約60団体から14団体）、設営に多くの時間と労力を費やした「お化け屋敷」に替えて、夜間の地震発生状況を想定した暗闇での宝探し等です。

「第42回あさひ納涼祭」（令和7年度）は、より楽しい納涼祭にしたいと思いますので、皆様のご参加をお待ちしております。

＜あさひ納涼祭実行委員会 実行委員長 義澤 香奈＞





第17回学ぼう災

～旭西部地域防災フェア～



令和6年11月17日(日)、旭中学校で第17回学ぼう災『旭西部地域防災フェア』を開催しました。

本訓練では、安全確認、避難者受け入れ、居住受付、居住作り、トイレ作り、暗やみ体験、消火器訓練、起震車体験など、多岐にわたる内容を実施しました。

安全確認では、校舎周辺や学校敷地内の安全確認チェックポイント図を用い、危険箇所や確認方法を体験しました。避難者受け入れ訓練では、避難者への対応や受け入れ方法について体験し、より円滑に対処するための工夫を考えてもらいました。今回の避難者受け入れ手順には、高知市が作成した避難所運営マニュアルも参考にしました。居住受付では、避難者受付後の居住場所での対応を体験し、居住作り体験への案内を行いました。居住作りでは、一世帯あたりの居住スペースや世帯間の距離、通路の確保・幅など、広い体育館内でどのような居住環境が最適かを体験しながら考える訓練を行いました。トイレ作りでは、高知市防災対策部地域防災推進課の二俣さんから、災害時にトイレが使用不可となる原因や対策についての説明を受けた後、段ボールトイレの作成を行いました。また、暗やみ体験では、体育館の倉庫を利用し、暗闇の中での行動を体験しました。入室前には懐中電灯への乾電池装著作業を体験し、水を入れたペットボトルを使うと光が拡散され明るくなることも実践しました。消火器訓練では、実際の消火器を使用してピンの外し方やレバーの握り方、噴出時の勢いなどを体験しました。起震車体験では、震度7の揺れを体験し、災害時の揺れの激しさを実感しました。

今回の訓練では、避難所開設後の居住場所設営を取り入れ、運営方法などをマニュアルに反映できるようにしました。また、旭中学校3年生の生徒が訓練体験を含めスタッフとして参加しました。生徒たちは数人ずつのグループに分かれ、それぞれの体験ブースを順番に回り、すべての訓練を体験しました。このような訓練を通じ、防災活動や災害時の対応について、日常的に意識してもらう契機となったと思います。

今回の訓練を通じ、継続して実施してほしいとの要望や、ブースごとに改善が必要な手順など、多くの貴重な意見をいただきました。次回の訓練に向けて、これらの意見を反映し、避難所運営マニュアルをより良いものにしていきたいと思っています。訓練後は、正面玄関前で餅(お菓子)投げや備蓄品等の抽選会を行い、大変賑わいました。今回も各団体の皆様にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。来年も「学ぼう災『旭西部地域防災フェア』」を継続して開催しますので、引き続きご協力をお願いいたします。

＜第17回学ぼう災実行委員会 大久保 光洋＞



横内小学校避難所開設訓練

令和7年3月2日(日)横内小学校において、避難所開設を含む防災訓練を実施しました。コロナ感染症が発生したこともあり、近年は防災会・町内会等の防災担当者による避難所開設訓練でしたが、コロナ感染症の収束傾向や、能登半島地震が発生したことなどの要因から、横内小学校を避難所として活用予定の防災会・町内会等の住民の参加も含めた訓練にしました。内容は、地域の子どもさんが参加したいと思う遊び心のある行事・訓練等も含めました。

当日は小雨がパラツクあいにくの天候でしたが、子どもさんが約190人、大人約50人、その他運営担当者(防災会・町内会の防災担当者・ピアハウス高知等)の参加者も含め、約290人の高揚した雰囲気での訓練となりました。今回は子どもさんにお菓子を用意しましたが、予想を大きく上回る状況になり、急遽補給のために買い出しをしました。主催者として、予想を超える参加者にご来場いただき、大いに盛り上がった訓練になったこと、大変うれしく思います。また、訓練に協力していただいた横内小学校、北消防署旭出張所、旭消防分団、マル二、四国電力、ピアハウス高知、高知市地域防災推進課、高知市地域コミュニティ推進課の皆様にご感謝申し上げます。

今後は、地域防災力を更に向上させるために、参加者からのアンケート調査の分析を行い、訓練に活かしていきます。令和7年度以降の訓練にも多くの住民の皆さんの参加を期待しています。 <旭西部防災連合会 会長 長尾 達雄>





学校だより

地域内の4つの小・中・高等学校(横内小・旭小・旭中・高知商業高校)での取り組みを紹介します。



旭小だより

人権教育参観日

6月14日(金)、人権教育参観日を設定し、各学級の授業公開の後、体育館で人権教育講演会を行いました。講師は、社会福祉協議会障害者福祉センターの吉良将利さんで、『障害者理解を深めるために～さまざまな出会いを通して～』という演題で話してくださいました。4～6年生の児童も参加し、たくさんの保護者の方々も参加してくださいました。

吉良さんは、自身の障害のこと、これまでの生き立ちの中で悔しかったことやがんばったこと、多くの人たちとの出会い、日常の暮らしの様子などを話してくださいました。「『障害がある人はかわいそうな人』ということはないよ」そして、「自分から『助けて』と伝えることの大切さ」「困っている人を見たら助けることができる人になって」というメッセージを届けてくれました。

吉良さんの話から、障害があると不自由ではあるけれど、工夫しだいではあることは広がる。整備していれば障害だと感じることなく生活できることもある(健常者中心の社会が、障害を作っている)。理解し合い互いの心のバリアを無くし、助け合うことで「障害」は無くなる。…。たくさんのことを考えました。

障害を感じず、誰もが生きやすい社会を作っていきたいですね。もちろん、学校についても、誰もが学ぶ喜びを味わうことができる旭小にしていきたいと、改めて思いました。

また、公開授業では、日頃じっくりと立ち止まって考えたことのないことに焦点を当てた学習でした。各学年、多面的に互いを理解し、違いを認め合うことの大切さについて、自分事として考える学習でした。これからも機会を作り、子どもたちと一緒に考えていきます。



体験学習も行いました。

- ・2年手話体験
- ・3年アイマスク体験
- ・4年車いす体験
- ・6年車いすバスケットボール

体験をするとともに、講師の方に、障害のこと、努力や工夫をしながら人生を楽しんでいることなどを話していただきました。



防災学習

5年 防災学習 → 旭スーパーTRY防災プロジェクト

総合的な学習の時間に、防災学習を行ってきた5年生。地域の方や行政、大学、企業の方々にお世話になりながら、地域の一員としてできることを考え、防災・減災に関する提案を行うところまで学習を進めました。そして、学んだことを広げようと校内や保護者・地域の方に発表したりパンフレットを作成したりして、みんなの学びに繋がりました。



きらら防災フェスティバル

たくさんの方々にお世話になって防災学習の場「きららフェスティバル」を開催。煙体験やマンホールトイレ、災害用伝言ダイヤル171、防災魚釣り、災害時トイレ体験・・・様々なコーナーを設け、地域・保護者の方々と一緒に全校児童が防災について学びました。



横内小学校だより

あさひ
西方見聞録
学校だより

こんにちは、旭西部地域の皆様！日頃より横内小学校の教育活動にご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。「あさひ西方見聞録」発行にあたり、令和6年度の本校の取組の中で今回は「防災教育」に少しだけ焦点をあててお知らせしたいと思います。

能登地震を教訓に、南海トラフ地震を想定した訓練

令和6年1月1日石川県能登地方を震源とする地震、そして、4月17日深夜に起きた豊後水道を震源とする地震。愛媛県と高知県で震度6弱の揺れを観測しました。

このような状況を受け、今年度の避難訓練では、教職員はもちろんのこと、子供たちも真剣度をましての訓練となりました。地震の際の対応の仕方や避難の際の注意点を確認。地震発生とともに机の下に潜って身を守る、ヘルメット等で頭を守り、担任の指示で移動するまでの訓練を行う中で、真剣に取り組む子供たちの姿に逞しさをかじた瞬間でした。



親子防災教室 開催

5年生は親子行事の一環として、9月に「親子防災教室」を実施しました。この教室は、フタガミホームセンター部の方々から南海トラフ地震への備えとしてどのように準備をしたらよいか、具体的な話をいただきました。

これまでの訓練とは内容が違い、いつも以上に真剣に取り組む親子の姿がとても印象でした。改めて、ご家庭での南海トラフ地震への「備えちょき！」の大切さを感じました。



多くの方々の力を借りながら、教育活動の充実を図ってまいります！

去る2月26日、毎年恒例となっています地域の方々に感謝する「ありがとう集会」が開催されました。日頃の感謝の気持ちを込めて、メッセージやお手紙を全校児童から渡すことができました。

オリンピックイヤーだった2024年は、パリオリンピックレスリングで金メダルを獲得した清岡幸太郎選手も学校に来てくれました。夢を追うために努力することが大切であることをみんなに伝えてくださいました。



また、日本一救急患者を受けいれている鎌倉湘南総合病院ER長の関根一朗ドクターにもきていただき、医療の最前線から命の大切さについてもお話いただきました。

横内小学校は、これからも多くの方々のお力を借りながら、教育活動を充実させるよう頑張ってまいります。今後ともご協力のほど、よろしくお願いします。



旭中学校

「防災参観日」を行いました!!



旭中学校では、旭西部防災会連合会主催の「学ぼう災」が行われる日を「防災参観日」とし、保護者とともに防災を考える機会を設けています。

11月17日(日)午前中、地域の防災イベント「旭西部防災連合会『学ぼう災(まなぼうさい)』」が本校を会場にして開催され、1年生は、起震車体験を行い、3年生は、6つのグループに分かれ、地域の方の指導のもと「避難所開設訓練」として、受付体験や、消火訓練、安全点検等、沢山の体験をしました。

午後の参観授業では、1年生は、「水害」・「減災」をテーマにしたカードゲーム等を通じて災害が起きたときの様々な状況に応じた身を守る行動について考えました。2年生は、修学旅行での阪神淡路大震災を通じての防災学習の振り返り、グループ発表を行いました。3年生は、午前中に参加した「学ぼう災」の振り返りを行い、被災時に避難所となった旭中学校で中学生が担える役割や、避難所で大切にしたいことなどについて考え、学級で共有しました。

今回の「学ぼう災」での体験は、南海トラフ地震発生の危険と隣り合わせの生活を送っていることを実感することができ、「正しい知識で、判断し、行動できる」ことの大切さや、自分自身が地域の担い手として「何ができるのか」など深く考える機会となりました。そして、地域の方々に沢山声をかけていただき、褒めていただいた経験は宝物となりました。今回新たな「学ぼう災」をするにあたり、何度も学校に打ち合わせに来てくださった天野さん、山内さん、丁寧に説明いただいた各ブースのスタッフの皆さん、共に活動してくださった地域の皆さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。

【3年生の感想(一部抜粋)】

- ・体験をすることによって、これからもし災害がおこった場合に自分たちが真っ先に動けるようにちゃんと学ぶことができた。
- ・災害が起こったとき危なくなる場所も分かったから、地震が起こったらすぐに危険な場所を避けて沢山の人の誘導しながら安全な場所へ移動し、沢山の人の命を守れたらいいと思った。
- ・コミュニケーションと協調性が大切だと思った。
- ・中学生にもできることがある。旭中に避難するのなら、知っていることもあるから、協力していくことが大事。
- ・大人が忙しくて避難所の受付などができないときに、中学生が舵をとっていかないと、他にする人がいなくなる。本番では、自分たち一人一人の行動が大事になってくると思った。
- ・最初、ただ知識を蓄えるだけでいいと思っていたが、実際にその方法で正しいのか挑戦することの方が大切だという気持ちに変わった。地域の一員として活躍したい。



高知商業高等学校

高知の食と自然の魅力を発信! 商品開発&ワークショップ開催!



本校、社会マネジメント科地域実践コース(3年生)は、サンプラザ塚ノ原店様と共同で、高知の食の魅力を発信する4品の商品開発に挑戦しました。地元食材を活かし、高知の魅力が詰まった商品を目指しました。

また、「高知県の野菜生産数ランキング上位の野菜」と「子どもが嫌いな野菜ランキング」が一致していることに着目し、健康カフェとりごえ様のご協力のもと、「ピーマンの蒸しパン作り」を実施。さらに、高知の森林問題への関心を深める為、廃材を活用したワークショップも行いました。

地域と連携し、学びながら高知の光を伝える為に取り組んだ今回の活動。今後も高知の魅力を発信し続けます!



保育園&幼稚園 から



塚

ノ

原

保

育

園



塚ノ原保育園では、食に対する興味を育むことを目的に、楽しく食育活動をおこなっています。

今年も、4月に年長組と年中組の60名で田植えをしました。

裸足になり田んぼの中に入ると、なかなか抜けない足にびっくりしたり、泥の感触を楽しんだり、にぎやかな田植えとなりました。



8月には稲刈りをし、大きく実った稲をみて、満足そうな笑顔で「とれたよー！」と見せてくれていました。

9月には昔ながらの方法で脱穀と粳すりをおこない、長い月日をかけてやっとお米の粒が見えた時には、子どもたちも目を輝かせていました。

普段当たり前のように食べているお米が、どうやってできているのかを知り、興味を持つことができました。



今年は、収穫したもち米を12月のお餅つきでお餅にして食べました。つくたてのお餅はとてもおいしくて、子どもたちも大喜びでしたよ。

その他にも、保育園の畑では、さつまいも・玉ねぎ・スナップえんどう・大根等も育てて収穫したり、年長組が園庭のプランターでピーマンやナス、ミニトマトも収穫して、調理して食べたりもしています。



これからも、食育を通していろいろな体験をしてほしいと思います。 <塚ノ原保育園 主任 片山 奈穂>

もみのき幼稚園 めだか園

～楽しく自然体験！～

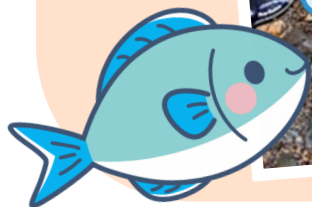
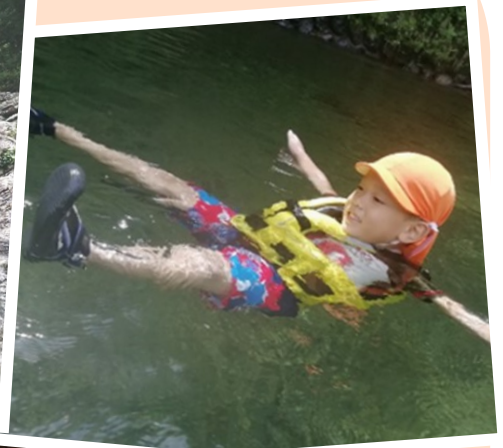
もみのき幼稚園めだか園は自然体験活動を積極的に行う認定こども園です。
森のようちえん活動として工石山登山や土佐山の高川での川遊び等、積極的に活動しています。

公益財団法人河川財団の河川基金助成による高川での活動成果が極めて優秀であり、他の模範となると令和7年2月に表彰されました。全国の学校(幼稚園含む)から2年連続で選ばれました。今年度は発表園にも選ばれ東京での表彰式にも参加しました。

令和7年度も引き続き子どもたちの安心、安全、未来を守り、楽しく活動してまいります。

子どもたちは、地域へお散歩に出かけていますので、見かけましたらぜひお声がけ下さい！

＜もみのき幼稚園 園長 兵等弥生＞



活動団体紹介

旭西部まちづくり推進会議と一緒に協力し合いながら、旭西部地区の住民の皆さんのための活動を行っている団体をご紹介します！

あさひのこどもを守る会



本会は、多くの会員（町内会・各小中高・PTA・青少協・民児協・塚ノ原駐在所・交通安全協会塚ノ原分会・横内小校区交通安全会議等）が相互の活動・情報の共有化を図るために定例会（3か月に1回、第4木曜日）を開催するとともに、昼夜の青色防犯パトロール、児童の登下校時の同伴パトロール、街頭指導、通学路の危険箇所チェック等の活動をしています。

また、令和6年12月13日（金）には、定例会後に旭西部まちづくり推進会議、旭西部防災連合会との合同交流会を開き、楽しい一夜を過ごしました。さらに、令和7年2月26日（水）には、横内小学校にて、ありがとう集会が開催され、700名を超す児童から元気な大きな声で、日頃の本会の活動に対し、「ありがとう」の言葉をいただき、逆に私からも「大きな声で元気をもらって長生きができます。ありがとう。」と言わせてもらいました。

私たちの活動の1年間の集大成である「安全・安心なまちづくり広報啓発パレード（第16回）」が、令和6年10月24日（木）に旭小学校で行われました。本来であれば、旭小学校ブラスバンド部を先頭に旭地域をパレードする予定でしたが、あいにくの雨となり、体育館でのパレードに変更しました。警察等の関係機関や参加された会員の皆さん、地域の方々からは、「体育館でのパレードも一風変わって良かった」との感想をいただきました。

これからも私たちは、子どもたちの安全・安心のため、一生懸命頑張りますので、子どもたちの見守り活動にご支援・ご協力の程よろしく申し上げます！

＜あさひのこどもを守る会 会長 長尾 達雄＞



旭小 青少年育成協議会

昔遊び & ハイキング in 行川

令和6年11月10日（日）、行川学園に行きました。当日はお天気に恵まれ、行川の城山ハイキングと体育館での昔遊びをしました。お昼は、おむすびと豚汁、棒巻きパンを作って食べました。城山ハイキングでは、新鮮な空気をいっぱい吸ってきたことでした。その後、地域の方々の太刀踊りの見学をしました。真剣を持って踊る姿に見入っていました。日本の素晴らしい文化に思わず見とれてしまいました。



ブルーサンタでごみ拾い

令和6年12月8日（日）にブルーサンタの姿で、本宮川のごみを拾いました。

小学生を中心に保護者、地域の方、学校の先生等たくさんの方のご協力のもとごみ拾いを行うことができました。本宮川のごみは以前より少なくなったと思います。とはいえ、いまだに空き缶、ビニール袋、お菓子の袋などが落ちています。今年は、本宮川でホタルの飛ぶ姿をあまり見ることはできませんでした。ホタルのえさになるカワナも少なくなっているように思います。どうしてかな？毎年、本宮川を見守っています。

〈旭校区青少年育成協議会 市川月子〉



青少年育成協議会 横内小

まず、繰り返しになりますが、少し長いのでいつも通称で「青少協（せいしょうきょう）」と呼んで頂いています。

青少協は、高知市内の小校区単位で組織されているボランティア団体で、おもにその地域に住む小学生や、中学生の健全育成に関わる校外での活動を、横内小学校PTA・高知市教育委員会青少年・事務管理課とともに連携を密に取りながら、支援させて頂いています。

本年度に実施させて頂いた主な行事の取り組みは、①柏島シュノーケリング体験（主催事業）、②Aブロック共同事業（高知市西部地区の9小学校区の合同開催で本年度は行川学園主催で城山にハイキングと昔遊び・棒巻きパン作り）、③しめ縄づくりと餅つき大会（旭小・旭東小・横内小3校区の主催事業）、④高知龍馬マラソン（支援事業）コース管理員として大会支援活動でした。

通年では、小・中学校主体に行われる行事（夏・冬まつりや昔あそび体験授業、文化祭・学ぼう災等）や、各地域団体主催による行事（あさひ納涼祭や防犯啓発パレード、敬老会、横内小校区運動会等）にもスタッフとして会員が積極的に参加し、日頃からの連携、相互交流を深めています。

最後に、「横内青少協」は子どもたちの支援を積極的に行ない、あわせて校区内での「地域団体間の繋がり」にも取り組みながら、「地域力」活性化の一助になるような活動を今後も行なう所存です。

〈横内校区青少年育成協議会 推進委員 甲藤 浩之〉



誰でも自由に利用できます！

こども食堂といごえ

令和6年度当初はコロナ感染拡大防止のため、弁当配布のみの場合や休業したりと本来の目的を達成できない状況にありました。

食堂の運営は、多くのボランティア（調理担当10人程度、後片付け3人程度、不定期で高知商業高校生等が終業後に受付・後片付け担当など）が参加してくれて、大変助かりました。また、12月は恒例の高知商業高校生によるイベントが実施され、6人の生徒によるピーマン入り蒸しパンの提供・ピーマンに関するアンケート調査などが行われました。

最近、食堂利用者が増加傾向にあることから、食器洗いスタッフが不足しています。短時間でも結構ですので、ご支援いただければ幸いです。

＜こども食堂とりごえ実行委員会 会長 天野 守章＞

～令和7年5月以降の取組～

場 所	健康カフェとりごえ 高知市鳥越1-1（高知商業高校野球場バックネット下側）
日 時	毎月第1・3月曜日 17時～19時（祝日はお休み）
内 容	食堂形式（バイキング）
負 担	こども無料、高校生以上は200円（協力金）をいただいております。



ボランティアの募集

調理担当: 時間帯(13時～16時)の内参加できる時間帯

その他担当: 時間帯(17時～19時)の内参加できる時間帯

問合せ 健康カフェとりごえ 担当 竹中(TEL 088-856-6470)

塚ノ原駐在所

安心!

安全!

住民の皆様には平素より高知警察署、塚ノ原駐在所へのご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

当駐在所では、子どもの安全を守るため、通学時間帯での街頭指導や、駐在パトカーでの赤色灯を点滅させた通学路のパトロールを実施しています。



また、年々被害が増加している『SNS投資詐欺・架空請求詐欺・サポート詐欺』等の特殊詐欺被害防止対策として、巡回連絡の際にお年寄り世帯に対して最新の手口を紹介して注意喚起を行い、被害の防止に努めています。

塚ノ原駐在所では、今後とも子どもやお年寄りが安心して暮らせる、安心と安全なまちづくりを推進していく所存ですので、住民の皆様にはご協力とご意見をお願いします。
〈塚ノ原駐在所〉

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
横内小学校防災訓練 定例会	定例会	定例会	交流会	定例会 第17回学ぼう災(旭中学校) 高ノ森の桜の手入れ	定例会	あさひ納涼祭交流会	あさひ納涼祭	旭ゼミナール 定例会	高ノ森の桜の手入れ 定例会	総会(交流会)	あさひ西方見聞録 vol 16 発行 定例会

旭西部まちづくり推進会議
令和6年度の活動

旭西部まちづくり推進会議

仲間募集中

旭西部まちづくり推進会議では、学ぼう災(防災訓練)、あさひ納涼祭、桜の手入れなどの運営スタッフを募集しています。

興味のある方は、高知市地域コミュニティ推進課までお気軽にお問い合わせください!!

あさひ西方見聞録 Vol.17
2025年(令和7年)6月発行

編集 集：旭西部まちづくり推進会議

発行責任者：甲藤 浩之

連絡 先：高知市地域コミュニティ推進課

(TEL 088-823-9080)